

B型肝炎ワクチン



対象者: 出生～1歳になる前日まで

🚩 B型肝炎について

🌸 一過性感染

急性肝炎を発症する顕性感染(症状があらわれること)、自覚症状がないまま治癒する不顕性感染(症状があらわれないこと)に分かれます。

⚠️ 急性肝炎

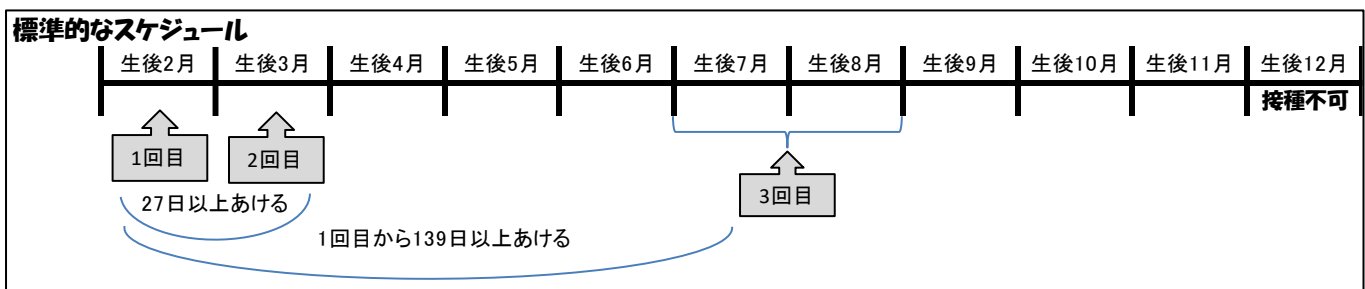
急性肝炎を発症した方のうち約1%の方が劇症肝炎(急性肝炎が急激に悪化し肝細胞の破壊が進行する病気)を発症する危険性があり、劇症肝炎を発症した方の40%～50%は死亡するといわれている、大変おそろしい病気です。

💧 持続感染

出産時の感染や、乳幼児期に感染した場合、免疫機能が未熟なためウイルスを排除することができない持続感染者となる場合があります。多くの場合は肝炎の症状は軽いのですが、10～20%の方は慢性肝炎へと進行し、その中から肝硬変や肝がんに進展する可能性があります。

<予防接種スケジュール>

※合計3回の接種を終えるまでにおよそ半年間かかるため、1回目の接種をなるべく早めに受けることがとても重要です！



注意事項

※HBs抗原陽性の妊婦から生まれた乳児として、健康保険によりB型肝炎ワクチンの投与(HBs人免疫グロブリンを併用)の全部又は一部を受けた方は対象者外となります。